

映画と講演の集い ～差別・偏見のない社会をめざして～

★ 第一部 ドキュメンタリー映画 14:00～14:50

【2017年 優秀映像教材選奨 教育部門 最優秀作品賞（文部科学大臣賞）受賞】

『^{こだま} 雄二 ^{ゆうじ} ハンセン病とともに生きる ～熊笹の屋根の生涯～』

2016年 43分 監督 大塚正之 制作 office MOTO



本作はハンセン病の強制隔離政策に抗い、人権回復を訴え続け、ハンセン病差別撤廃運動の先導者として生きた詩人の生涯を描く。

…… 雄二の強さというのは、文学あるいは思想を背景にした強さでもあったと思います。運動家としての、理論家としての雄二というのは確かにここにいるけれども、それは単なる入口で、その運動家の背後には詩を書く雄二、文学をする雄二、思想する雄二がいた…… 作家 姜 信子(きょう のぶこ)

雄二 (こだま ゆうじ) プロフィール

詩人。1932年東京都生まれ。39年にハンセン病を発症し、国立療養所多摩全生園に入所。51年には国立療養所栗原生泉園に転園。62年に詩集『鬼の顔』(昭森社)を出版。その後も詩集『ライは長い旅だから』(詩・雄二/写真・趙 根在 皓星社)や自叙伝『わすれられた命の

詩』など数々の作品を発表するとともに、99年に原告として東京地裁に「らい予防法人権侵害謝罪・国家賠償請求訴訟」を提訴するなど、ハンセン病回復者の名誉回復に力を尽くす。2014年5月11日没。

★ 第二部 講演 15:00～16:30

『ハンセン病問題：その歴史・人としての尊厳をとり戻す闘い』

重監房資料館部長・学芸員 講師 黒尾和久さん



★ 講師 プロフィール

2009年4月から国立ハンセン病資料館学芸課長、2014年7月から同館学芸部長、2018年6月より重監房資料館部長。重監房資料館開設準備にあたって特別病室(重監房)跡の発掘調査・報告を主導したほか、全国で人権啓発にかかる講演活動を行っている。県立厚木高等学校卒、東京学芸大卒、東洋大大学院修士課程(考古学)修了。

2023年2月4日(土) 14:00～16:30 (1:30開場)

勤労市民会館 6階 A研修室

参加費:600円(当日800円) 学生:無料

主催:ピースカフェちがさき / 協力:チームみつばち

後援:茅ヶ崎市

★予約・問い合わせ:090-4845-9915(うらた)・0467-53-4448(おごせ)